

# 2023年10月17日掲載 物流ニッポン

## 第一貨物で職場見学会

### ハロワ千葉&千ト協 求職者9人が参加

【千葉】ハローワーク千葉と千葉県トラック協会（池田和彦会長）は9月29日、「運輸のしごと職場見学会」を第一貨物千葉支店

（千葉県四街道市）で開催し、求職者9人が参加した。見学会は、座学でのトラック運送業界の説明と、第一貨物が手掛ける企業間向け特別積合せ事業について聞いた後、支店構内を見学する2部構成で実施。求職者は業務で使うトラック

荷扱い作業のほか、集配トラックなどを見学。参加した求職者からは「フォークリフト運転技能講習の修了証を持っていないが、取得補助はあるのか」「自分はタバコを吸わないが、車両は禁煙か」など、実際に業務に就いた前提の質問が多く出された。

第一貨物では今回、集配ドライバーと幹線輸送に携わる運行ドライバー、物流センターで荷役に従事するオペレーション職の3職種で募集を行っており、見学会で同社の業界内での立ち位置と規模、各職種の業務内容について説明した。講師からの説明とともに、採用向けに作成した動画も上映。様々な資料を使い、多面的にトラック運送を紹介した。

中村誠支店長は、求職者に「以前は3K（きつい、汚い、危険）業界として避けられてきたが、特積業界の働き方は大きく変化した。『2024年問題』という言葉を聞いたことがあろうと思うが、これは働く人々を守るための改革で、24年度以降、トラック運送業界は更に働きやすい職場になる。今日の研修で、今までのイメージを刷新してほしい」と呼び掛けた。

（佐々木健）

第一貨物千葉支店の構内を見学する求職者ら



構内では、荷さばき場での集荷・配送貨物の